

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ

グループウェア関連の小型案件

投資スタンスと初値メド

ブックビルディング参加	——
初値投資	——
初値メド	——

市場の注目度	★★★
想定仮条件レンジ	2700円~2800円
予想PER	13.2倍~13.7倍
予想トレーディングレンジ 期間: 上場後1年を想定	3000円~7000円
予想PER	14.6倍~34.2倍

※★印は5段階評価

日程

仮条件提示	11月10日
ブックビルディング期間	11月11日~11月17日
公開価格決定	11月18日
申込期間	11月19日~11月25日
払込日	11月26日
上場日	11月27日

類似会社 3社

平均PER	14.5倍	→	2,970円
リスモン<3768>	16.5倍(連)	→	3,380円
コムチュア<3844>	12.5倍(連)	→	2,561円
サイボウズ<4776>	1倍(連)	→	-円

(PERは11月6日現在の会社側予想ベース)

ウェブ技術をベースとしたグループウェアである「desknet's NEO」とその関連製品・サービスの開発、販売等を手掛ける。中小企業から大企業、官公庁、各団体と幅広い業種、分野に導入実績があり、旧製品の「desknet's」と「desknet's NEO」を合わせた販売累積ユーザー数は2015年7月時点で321万に上る。

日本郵政グループの上場が好調な滑り出しとなったことで、新規のIPO投資家の参加も見込まれる。

公開規模については7億円前後となる見込み。ベンチャーキャピタル株主は確認されず、スケジュール的にも前後1週間程度は新規上場が予定されていないことから、需給面は良好と言える。

銘柄紹介

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常利益	伸び率	純利益	伸び率
2012/1	1,397	—	115	—	22	—
2013/1	1,450	3.8%	161	40.1%	97	323.5%
2014/1	1,552	7.0%	211	30.9%	129	33.4%
2015/1	1,724	11.1%	265	25.3%	172	33.2%
2016/1 予	1,867	8.2%	361	36.0%	228	32.2%
2015/7 2Q	943	—	258	—	165	—
予想 EPS/配当	単独:204.85 円(上場時発行済株式数で試算)/22.00 円					

業績コメント

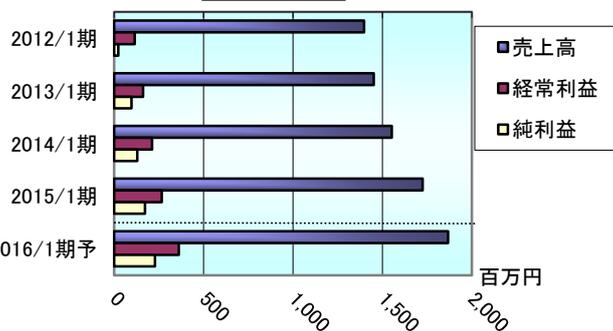
2016年1月期の業績は、売上高が前期比 8.2%増の 18.6 億円、経常利益が同 36.0%増の 3.6 億円と増収増益の見通しとなっている。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高 9.4 億円で 50.5%、経常利益 2.5 億円で 71.5%となっている。

足元のソフトウェア業界においては、クラウドサービスの利用企業の割合が大幅に増加するなどクラウドサービスの利用拡大が顕著となっている。グループウェアについても、クラウド系の市場規模は今後も成長することが見込まれている。

同社のクラウドサービスについては、desknet's クラウドの利用ユーザー数が順調に推移している。desknet's クラウドの前身サービスである Applitus の利用者の desknet's クラウドへの乗り換えも徐々に進んでいる。また、ASP 事業者向けの売上高も、堅調に推移した。

業績動向



銘柄紹介

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

基本概要

所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目
代表者名(生年月日)	代表取締役社長 齋藤 晶議(戸籍名:齊藤 章浩)(昭和36年12月16日生)
設立	平成4年2月29日
資本金	9905万円(平成27年10月23日現在)
従業員数	78人(平成27年9月30日現在)
発行済株式数(上場時)	1,113,000株(予定)
公開株数	公募110,000株 売出110,000株 (オーバーアロットメントによる売出33,000株)
想定公開規模	6.8億円~7.1億円(OA含む)
事業内容	ウェブ技術をベースとしたグループウェアである「desknet's NEO」とその関連製品・サービスの開発、販売等

売上高構成比率(2015/1期実績)

品目	金額	比率
ソフトウェア事業	1,724 百万円	100.0 %
合計	1,724 百万円	100.0 %

幹事証券団(予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	岩井コスモ証券(株)	未定	未定
幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定

銘柄紹介

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

大株主上位10位

順位	株主名	保有株数	保有シェア
1	齋藤 晶議(戸籍名: 齋藤 章浩)	510,000 株	44.68 %
2	大坪 慶穰(戸籍名: 大坪 克也)	240,000 株	21.02 %
3	松倉 二美	90,000 株	7.88 %
4	(株)プロシードゥス	75,000 株	6.57 %
5	(株)ビットアイル	22,000 株	1.93 %
6	ネオジャパン従業員持株会	15,000 株	1.31 %
7	後藤 健	14,000 株	1.23 %
8	小沼 尚夫(戸籍名: 小沼 久夫)	10,000 株	0.88 %
8	大神田 守	10,000 株	0.88 %
8	高稲 伸一	10,000 株	0.88 %
合計		996,000 株	87.26 %

その他情報

手取金の使途	新製品の研究開発、地方営業所開設資金、既存製品の機能強化に充当し、残額は自社サービスの機能向上や開発等のための人材採用費等に充当する予定。	
関係会社	-	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	-
	割当先	-
	発行価格	-

ネオジャパン [3921・100株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

銘柄紹介

ウェブ技術をベースとしたグループウェア「desknet's NEO」とその関連製品・サービスの開発、販売を主な事業とする。

ソフトウェア事業の単一セグメントであり、売上区分は、(1) グループウェア及びその関連製品をインターネット経由で提供する「クラウドサービス」、(2) グループウェア及びその関連製品のライセンスを販売する「プロダクト」、(3) ソフトウェアの受託開発をする「技術開発」としている。

(1) クラウドサービス

「desknet's NEO」などのグループウェア及びその関連製品をインターネット経由で提供するサービスに関連する売上である。自社で提供しているクラウドサービスの利用料の売上、外部のASP事業者に対して提供している自社製品のライセンス売上及びこれらに関連する役務作業の売上が含まれている。

「クラウドサービス」は、主に中規模・小規模ユーザーを対象としており、販売については広告宣伝やセミナーの開催を契機とする自社販売に加えて、販売代理店及びASP事業者を通じて販売している。ユーザーはインターネット環境さえあればサービスを利用することができ、特別なシステム投資やシステムに関する知識なしで利用できることが特徴。同社は製品開発、販売、保守に特化しており、サービス提供に利用しているデータセンターは、外部のデータセンターを利用している。

(2) プロダクト

「desknet's NEO」などのグループウェア及びその関連製品のライセンス販売に関連する売上である。グループウェア及び

その関連製品のライセンス売上、当該製品のサポートサービス売上、製品のカスタマイズ売上、その他これらに付随する役務作業の売上等が含まれている。

「プロダクト」では、中規模・小規模ユーザー(5~300ユーザー)に対して「スモールライセンス」を販売しており、大規模・中規模ユーザー(300~数万ユーザー)には「エンタープライズライセンス」を販売している。販売については、主に販売代理店を通じた販売を行っている。

(3) 技術開発

上記「クラウドサービス」や「プロダクト」に直接関連しないソフトウェアの受託開発に関連する売上である。

「技術開発」は、その名が示す通り高い利益率を目指すよりも技術を自社に蓄積することを目的としており、「クラウドサービス」や「プロダクト」における製品・サービスの開発につながるような開発案件を受託している。

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



投資のポイント

インターネット関連とはいえ、足元の株式市場の投資テーマに乗る事業内容とは言いづらいが、公開規模がマザーズ案件としても小さめである。10月下旬にマザーズへ上場したGMOメディア<6180>、パートナーエージェント<6181>、バルニバービ<3418>の3社は、いずれも公開価格の2倍を超える高初値を付けた。また、注目された日本郵政グループの上場が好調な滑り出しとなったことで、新規のIPO投資家の参加も見込まれる。

確認されない。また、スケジュール的にも前後1週間程度は新規上場が予定されておらず、需給面は良好と言える。

同社は、主力製品のグループウェア「desknet's NEO」とその関連製品・サービスの開発、販売等を手掛けている。「desknet's NEO」は、ビジネスシーンにおいて日々の社内業務とコミュニケーションに役立つ25の機能を有している。「HTML5」を全面採用していることから、製品性の高さと低価格を両立しているという。中小企業から大企業、官公庁、各団体と幅広い業種、分野に導入実績があり、旧製品の「desknet's」と合わせた販売累積ユーザー数は2015年7月時点で321万に上る。

業績面について、2016年1月期は売上高が前期比8.2%増の18.6億円、経常利益が同36.0%増の3.6億円と増収増益の見通しとなっている。直近数期は2ケタ増益が継続している。想定仮条件水準の今期予想PERは13~14倍程度で、類似企業とおおむね同水準となっている。

公開規模については7億円前後となる見込み。株主には齋藤社長ら役員が名を連ねており、ベンチャーキャピタル株主は

銘柄紹介

ネオジャパン [3921・100 株] 11月27日 東証マザーズ市場上場

2015年11月9日(月)
更新: 18時26分
株式会社フィスコ



新規公開株レポート

投資スタンスの見方

Aggressive (アグレッシブ)	積極的参加	投資収益率 100%以上が見込まれる案件
Active (アクティブ)	やや積極的参加	投資収益率 50%以上が見込まれる案件
Passive+ (パッシブ・プラス)	やや消極的参加	投資収益率 20~50%未満が見込まれる案件
Passive- (パッシブ・マイナス)	消極的参加	投資収益率 0~20%未満であり、マイナスの可能性のある案件
Negative (ネガティブ)	参加見送り	投資収益率がマイナスになる可能性が予想される案件

《 重要事項(ディスクレマー) 》

株式会社フィスコ(以下[フィスコ]という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ



■ 本資料のご留意事項

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料は、SBI証券が、株式会社フィスコが信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料の著作権、知的所有権等一切の権利は株式会社フィスコに帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券 WEB サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

■ 国内株式取引のリスク情報について

・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

■ 留意点

・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の支店までお問い合わせください。
・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書は当該銘柄の取扱証券会社のホームページ等で入手いただけます。

商号等： 株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号： 関東財務局長（金商）第44号
加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会